

2021 年 03 月 22 日参議院環境委員会議事録（抜粋）

○市田忠義委員

…これまでも、インバウンドを前提とした満喫プロジェクトによる上質化事業の更なる展開では、分譲型ホテルの規制緩和が行われました。これまでは国立公園の中には分譲型ホテルの建設というのは認められてこなかったと、それは、国立公園利用に対する公平な利用機会が提供できないということでこれまで認められてこなかったんですが、二〇一九年の九月、この規制緩和が行われて、去年の三月九日認可をされた伊勢志摩国立公園特別地域内に、アマネムという分譲型ホテルが建てられました。これは、アマンという外国系企業と三井不動産株式会社の共同で建設されたものであります。

分譲ですから、これは、国民の自然環境、景観を特定の個人、事業者と言わば切り売りするもの、以前のリゾート法による規制緩和に類似するもので、公園事業としての言わば公益性というか公平性という点で大変問題だと思うんですが、大臣、いかがですか。

○小泉進次郎環境大臣

…そして、アマネムの話もありましたが、こういった業界の要望を受けたためこういったことになったということではないことははっきり申し上げておきます。申請があり、具体的に基準を満たしたものが現時点ではアマネム一件であると、そういったことにすぎないと思いますが、事業の公益性、公平性を担保しつつ、地域の活性化などを図っていきたいと思います。

出典：参議院議事録より山下事務所作成

2021 年 4 月 22 日参議院環境委員会配付資料⑦ 日本共産党 山下芳生